



北の近江振興
プロジェクト

令和7年度 北の近江女性活躍加速化事業

職場の
ミーティング
未来デザイン

企業の人事担当者や働く環境に興味がある方を対象に
働き方のステップアップを共に進めるための
ミーティング

子育て・家庭・働き方

個人や家族だけでは解決が難しい課題も

企業や地域の力が加われば前に進める。

従業員の働く時間・役割を広げ働き方のステップアップができる

「働きやすい職場」を本気でカタチにするミーティングを開催しました。

2025年11月20日（木）13：30～16：30

■ ミーティングの流れ

働く側の現状を知る。

- ①働く人のリアルな声を聴く
- ②企業の現状
- ③よくあるお声

1

働きやすい環境を考える。

- ①働きやすい環境にむけて「あったらいいなあ」のアイデア出し

2



働きやすい環境に向けたアイデア

I. 柔軟な働き方・効率化

II. 相互支援・互助活動

III. コミュニケーション・風土

IV. 評価・キャリア支援

V. 子育て環境の整備

1. 柔軟な働き方・効率化

個人

地域
行政

企業

☑自分で自分を満たすことを学ぶ
(制度に頼りすぎない)

☑有給休暇の取得推奨日数の明示

- ☑働き方の柔軟性（フレックス、クラウドシステム導入など）
- ☑ノー残業、時間外の削減
- ☑業務外時間（PM10:00～AM5:00）のメール禁止
- ☑業務の属人化解消（従業員教育推進）

II. 相互支援・互助活動

個人

地域
行政

企業

☑ パパさんなどコミュニティづくり

☑ ファミリーサポートサービスの周知・広報

☑ ファミサポ活用を企業への呼びかけ

☑ 学区内でジジババ&子どもマッチング

☑ 地域住民も巻き込む

☑ パパさんなどコミュニティづくり

☑ ファミサポをウーバーイーツ化する

☑ ファミリーサポートの仕組み作りと
金銭的サポート

☑ ファミサポ利用について広報

☑ 企業内の支えあいのチームの設置

☑ ファミサポ活動のための有給を推奨

☑ 年配社員の互助活動も応援

☑ 派遣社員の送迎バスを活用

Ⅲ. コミュニケーション・風土 のためのアイデア

個人

地域
行政

企業

- ☑伝えられる範囲で家族状況を伝える
- ☑妻への感謝を言語化する
- ☑フリーダムに不平不満を口にできる
- ☑夫の理解を得る

- ☑家庭の悩み（愚痴）を吐ける場
- ☑業務時間以外のコミュ時間
（レクリエーション・面談）
- ☑全職員対象座談会
- ☑人間力・思いやり等の勉強会、研修
- ☑情報共有しやすい風土づくり

- ☑孤独な人が集まれるイベント
- ☑家庭の悩み（愚痴）を吐ける場
- ☑情報共有できる
- ☑地域のロールモデルを知る
- ☑男性のための家事、
女性の心や体を理解するセミナー
- ☑社長マインドチェンジ
- ☑人間力・思いやり等の勉強会、研修

IV. 評価・キャリア支援 のためのアイデア

個人

地域
行政

企業

- ☑他人と比べない
- ☑様々な環境やライフステージごとの課題を理解

- ☑企業の取組に対する評価制度の導入
- ☑人材育成・自己肯定感UPなどの研修開催
(託児付き)
- ☑管理職向け研修

- ☑家庭での貢献度を会社でも評価
- ☑目標管理制度の導入、成果報酬付き
- ☑副業推進
- ☑新しい仕事、お試し制度
- ☑管理職向け研修

V. 子育て環境の整備

個人

地域
行政

企業

☑本当の意味での待機児童の解消

（入園するために兄弟別々の園に通うのではなく、
同じ園に通えるようにしてほしい）

☑子どもを預けられるセミナー・イベント

☑家事ロボット補助金

☑保育所の設立

（急な迎え、育児の負担軽減、土日祝日
のお預かり）

働きやすい環境にむけて
「あったらいいなあ」のアイデアを

カタチにしていくヒント💡

アイデア 

- ☑ ファミリーサポートサービスの周知・広報
- ☑ ファミサポ活用を企業への呼びかけ

カタチにするヒント

商工会議所、行政、企業の団体等へ周知活動

- ・ 関係機関に働く人の不安や課題を共有とともに、ファミサポなどサポートの紹介を進める。

ファミサポなどサポート事業の活用拡大

- ・ 勤労者互助会など提携サービスに
- ・ 行政などが発行している子育て応援チケット等の利用先にする

アイデア

- ☑ パパさんなどコミュニティづくり
- ☑ 孤独な人が集まれるイベント
- ☑ 男性のための家事、
女性の心や体を理解するセミナー
- ☑ 人間力・思いやり等の勉強会、研修
- ☑ 人材育成・自己肯定感UPなどの研修開催
(託児付き)
- ☑ 情報共有できる
- ☑ 地域のロールモデルを知る
- ☑ 社長マインドチェンジ
- ☑ 管理職向け研修



カタチにするヒント

働きやすい環境づくりを進めるネットワークを作る

- ・ 地域の企業と行政でタッグを組んで
【働きやすい環境づくり】専門の委員会を設立する。
- ・ 各社から委員として参加。
左記の課題を解決できるような企画を一緒に提案していく。

ヒント💡

企業が参加しやすく、実装の視点

企業が無理なく取り組める環境づくりのために

「やらないこと」を決める切り口（削減・手放し）

■現場の負担軽減

- 「今の現状を減らす」視点を持つ
- 「知られていない・使われていない」制度や運用方法の見直し
- 自社の「あたりまえ」を見直す機会の提供

■他社事例の共有

- 手続き、周知、運用方法の共有
- 成功事例や失敗事例を情報交換
- 共通の課題を認識し、次へのアクションプランを作成

■地域での評価と継続

- 実践事例やインタビューなど施策をまとめた情報提供
- 採用、定着につながる企業イメージ向上の後押し



【地域全体で育てる 持続可能な企業参加モデルを作成】

負担を「引き算」し、成果を「掛け算」する
3つの視点

1. 動かしやすい視点
現場の負担を増やさない

2. 実行重視の視点
使われる前提・見える化

3. 継続の視点
仕組み化・チーム運用

「減らす」「見える化」「評価する」のサイクルで
企業の課題を地域の強みへと変えていく